



まなざし

南郷小学校
通級指導教室
4・5月号
令和6年4月11日

ご入園、ご入学、ご進級おめでとうございます。新しい環境の中で、さまざまな思いを胸に通園、通学されていることと思います。新たに始まる1年をお子さんと一緒に過ごせることをとても楽しみにしています。

今年度も保護者の皆様には通級指導教室へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「渾沌、七竅に死す」と子どもを育てるということ

校長 関根 治彦

「渾沌、七竅に死す（こんとん、しちきょうにしす）」という寓話があります。紀元前四世紀の中国の思想家「莊子」の『応帝王編』に記された「渾沌（こんとん）」という名の帝王の話です。この帝王には、人の顔にあるべき7つの「穴（目・鼻・口・耳）」がないので、その顔はノッペラボウのようでした。その渾沌の国の両隣に、南海の儵（しゆく）という帝王と、北海の忽（こつ）という帝王がいました。二人は渾沌の国に招待され、大変な歓待を受けました。そこで彼らは、渾沌へのお礼として渾沌の顔に1日に1つずつ穴をあけてあげることになりました。ところが、7つ目の穴を開けたところで、渾沌は死んでしまったという内容です。善かれと思ってやったことが裏目に出たという話です。

この話が引用として語られる多くは「子どもたちに過保護にしすぎて、育つ機会を奪ってはいませんか」という内容です。それは、子どもは日々、様々な経験をして、その過程で、試したり、悩んだり、失敗したりしながら解決をし、人として成長していくからです。「親は木の上に立って見守るのが仕事」というのも最もです。しかし、子ども一人では乗り越えられない状況になっているとしたらどうです。7つの穴が適切な場所、適切な大きさに開けられたとしたらどうでしょう。きっと、よりよく問題を解決し、大きく育っていくことができたはずです。つまり、状況に応じた見極めが大事ということなのです。人は誰でも大なり、小なり苦手なことや不得意なことがあります。それは自分で乗り越えさせることがよいのか、やり方やコツを教え、解決の方法を学ばしていくことが大切なのかを見極める事が大切です。通級指導教室は後者の立場を執りながら、苦手なことや不得意なこと乗り越える方法を一緒に考える教室です。保護者の皆様にはお子さんの送迎などお手伝いいただかなければならないこともありますが、学校とともに手を携えて、子どもたちの健やかな成長を図ってきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4月・5月の予定

点線の上が午前、下が午後です。

☆印は指導がお休み、★は担当者によって違います。

月	火	水	木	金	土	日
8 始業式 入学式	9	10	11 まなび指導開始	12	13	14
15 ことばときこえ通級説明会 ことばときこえ指導開始	16	17 ★道言協全体会 ことばときこえ指導なし	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29 昭和の日	30	5 / 1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日
6 振替休日	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17 職員会議	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	6 / 1 運動会	6 / 2

【ことばを育てる親の会から】

ことばを育てる親の会北海道協議会の総会を6月15日（土）に行います。会場は、北大サテライトキャンパス（紀伊国屋書店4階）の予定です。詳細については、決まり次第お知らせします。ぜひ、たくさんのご参加お待ちしております。

【難聴児をもつ親の会は～もに～から】

札幌市難聴児をもつ親の会の総会を5月19日（日）に行います。会場は男女共同参画センター（札幌エルプラザ内）の予定です。詳細については、4月発行の会報でお知らせします。ぜひ、たくさんのご参加お待ちしております。



お願いします

次号からは、右のQRコードからお便りをご覧ください。毎月25日前後に翌月のお便りが発行になりますので、通級指導日の確認をお願いいたします。なお、紙で確認したい方は待合室に用意してありますので、ご自由にお持ちください。

